



桃見台小学校 学校だより

桃 風

令和3年度

No. 23

発行日 R4. 2.25 (金)

発行責任者 校長 鈴木 哲明

学力向上のといくみ

本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学力向上が学校教育の根幹であると考え、授業の充実に努めています。これまでにに行った「ふくしま学力調査」から、本県児童の課題も見え、その克服を図ることが本校でも学力向上につながるものと考えています。特に下記の通り「非認知能力」と「学習方略」が重要であると指摘されています。

令和3年度もあとわずかとなりました。学年のまとめにあたり、学習内容の定着が重要になってきます。「非認知能力」の育成をもとに各教科の基礎・基本を確実に身につけて卒業・進級できるよう励ましていきたいと思います。

<非認知能力>

- ① 自制心……自分の意志で感情や欲望をコントロールすることができる力
- ② 自己効力感……自分はそれが実行できるという期待や自信
- ③ 勤勉性……やるべきことをきちんとやることができる力
- ④ やりぬく力……自分の目標に向かって粘り強く情熱をもって成し遂げられる力

<学習方略>

- ① 柔軟的方略……自分の状況に合わせて学習方法を柔軟に変更していく活動
- ② プランニング方略……計画的に学習に取り組む活動
- ③ 作業方略……ノートに書く、声に出すといった「作業」を中心に学習を進める活動
- ④ 人的リソース方略……友人を利用して学習を進める活動
* 埼玉県教育委員会の分析では学力と負の相関（人的リソース方略を利用する児童生徒ほど学力が低くなる傾向）があると報告されています。
- ⑤ 認知的方略……より自分の理解度を深めるような活動
- ⑤ 努力調整方略……「苦手」などの感情をコントロールして学習への意欲を高める活動

「令和3年度学校教育指導の重点 郡山市教育委員会」より

<令和の桃太郎精神>

本校は、昭和4年の創立以来、桃太郎を理想の人としてきました。その良さは、いくつかあると思いますが、そのうちの3つを、全校朝の会（1月17日・放送）でお話ししました。（概要）

- 1 生まれも育ちも大変な中、自分に負けずにがんばった。おじいさん・おばあさんの言うことをよく聞いて、素直に勉強し、心と体を鍛えた。
- 2 勇気をもって鬼退治に出かけた。社会をよくするために戦った。
- 3 本来仲が悪い動物を仲良くさせた。不可能を可能にした。

桃太郎は、両親もなく、山奥の厳しい環境の中でも自分を鍛え、困っている人のために勇気を持って前に進み、誰とでも仲良くして世の中を変えていった素晴らしい人です。現在、感染症対策等、私たちの生活も大変なことがたくさんありますが、桃見っ子は、桃太郎のように明るく元氣よくがんばってほしいと期待しています。